

かみさまが アブラムを よぶ

創世記 12:1-9

保護者・先生のみなさまへ

このビデオは、創世記12章1〜9節「アブラムの召し」のお話です。家族とともにウルからハランへ移り住んだアブラムに、神さまは「わたしが示す地へ行きなさい」と語りかけ、大きな祝福を約束されます。アブラムは75歳で旅立ち、カナンに着くと祭壇を築いて神さまに祈りました。

行き先がよく分からなくても、アブラムは神さまの言葉を信じて一歩を踏み出しました。子どもたちは、神さまが約束を守ってくださる方であること、お祈りでいつでも神さまとお話しできることを学べます。新しい園や引っ越しなど、少し不安な場面と重ねてお話ししてみてください。

いっしょに読む 聖書のことば（口語訳）

創世記 12:1-2 時に主はアブラムに言われた、「あなたは国を出て、親族に別れ、父の家を離れ、わたしが示す地に行きなさい。 わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大きくしよう。あなたは祝福の基となるであろう。

創世記 12:4 アブラムは主が言われたようにいで立った。ロトも彼と共に行った。アブラムはハランを出たとき七十五歳であった。

創世記 12:7-8 時に主はアブラムに現れて言われた、「わたしはあなたの子孫にこの地を与えます」。アブラムは彼に現れた主のために、そこに祭壇を築いた。 彼はそこからベテルの東の山に移って天幕を張った。西にはベテル、東にはアイがあった。そこに彼は主のために祭壇を築いて、主の名を呼んだ。

ヘブル人への手紙 11:8 信仰によって、アブラハムは、受け継ぐべき地に出て行けとの召しをこうむった時、それに従い、行く先を知らないで出て行った。

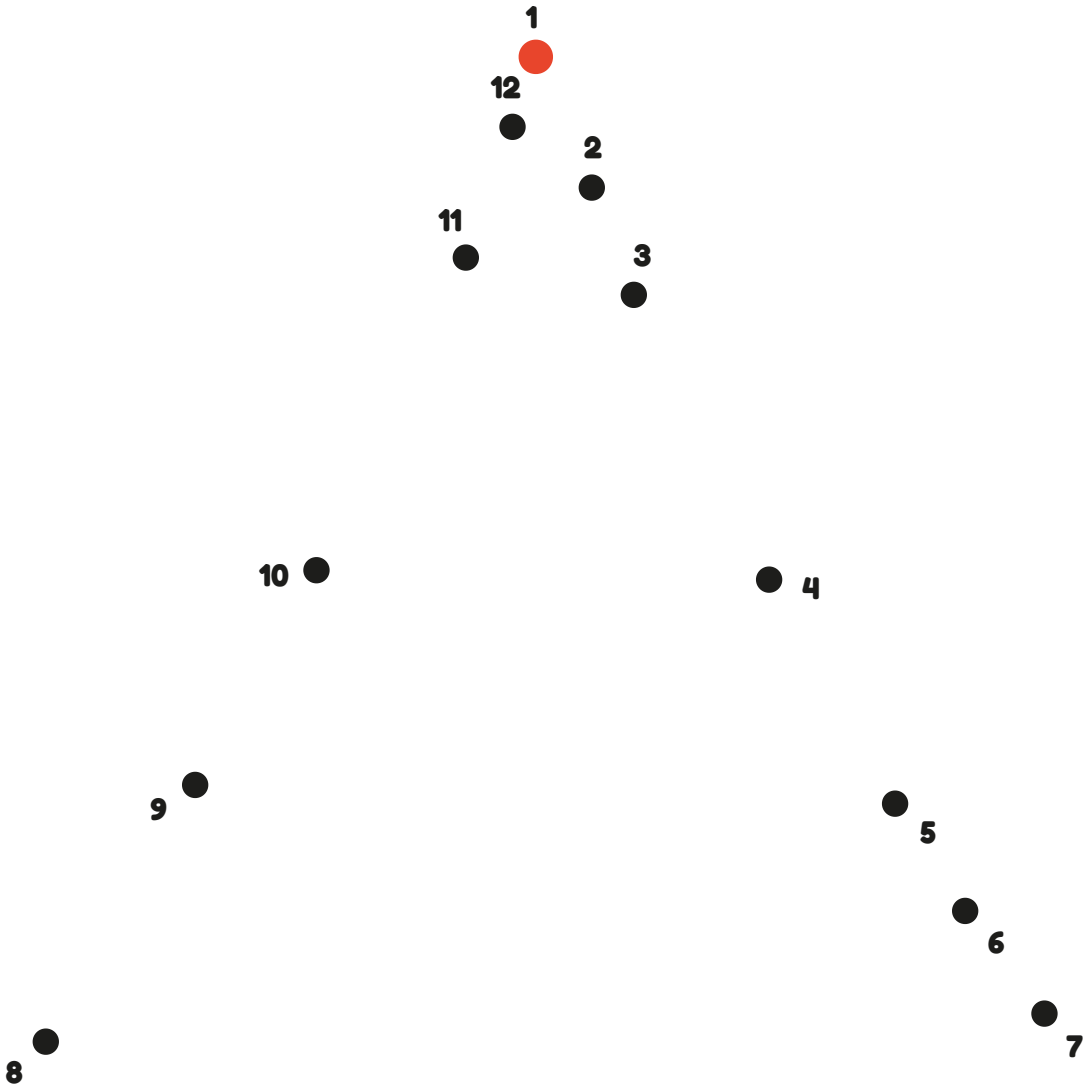
箴言 3:5-6 心をつくして主に信頼せよ、自分の知識にたよってはならない。 すべての道で主を認めよ、そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。

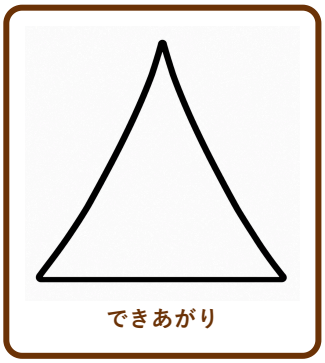
子どもと話してみましょう

1. かみさまは アブラムに なんて いったかな？
2. アブラムは だれと いっしょに たびに でたかな？
3. カナンに ついて アブラムは なにを つくったかな？
4. おうちを はなれる とき、 アブラムは どんな きもち だったと おもう？
5. かみさまの やくそくを きいて、 アブラムは どう おもったかな？
6. きみは きょう かみさまに どんな ことを おはなし したい？

てんつなぎ

1から 12まで じゅんばんに つなごう。あかい てんから はじめてね。なにが でてくるかな？





できあがり

テント

ぬりえ

かみさまが アブラムを よぶ



こうさく

こいしで つくる アブラムの さいだんと テント

アブラムが カナンで 石を積んで神さまのために祭壇を作り、テントを張ったように、子どもたちも小石を一つずつ積み、紙のテントを立てます。作りながら「アブラムは神さまの言葉を信じて、遠くまで歩いたね」「アブラムはここで神さまとお話ししたんだね」と語り合ってみてください。

よういするもの

- ☐ そとで ひろった こいし 8〜10こ（うずらの たまごより おおきいもの）
- ☐ ちゃいろか きいろの がようし（A4） 1まい
- ☐ しろい がようし（A4の はんぶん） 1まい
- ☐ もっこうよう ボンド
- ☐ セロハンテープ
- ☐ クレヨン



できあがり

つくりかた

1. こいしを みずで あらって、 タオルで ふいて かわかそう。
2. ちゃいろの がようしに、 クレヨンで くねくねの みちを かこう。 アブラムが あるいた みちだよ。
3. しろい がようしに、 クレヨンで すきな しまもようを かこう。
4. しろい がようしを はんぶんに おって、 やまの かたちに たてよう。 これが アブラムの テントだよ。
5. テントの はしを セロハンテープで、 みちの さきに とめよう。
6. テントの となりに、 こいしを ボンドで くっつけながら すこしずつ つみあげよう。 かみさまの ための さいだんだよ。
7. できあがったら、 アブラムみたいに かみさまに 「ありがとう」と おいのりしよう。

> **大人の方へ：** 小石は事前に大人が拾って洗っておくと安心です。小さな子が口に入れないよう、うずらの卵より大きな石を選んでください。ボンドは乾くまで30分ほどかかるので、石を積んだら机の上で動かさずに置いておきましょう。